一般 君津富津広 域下水道組 合

直接

処理場 増設 君津富津終末処理場(水質保全)

A1-1-8 下水道

任会負	一个枪	行登	1用計世	Ц	争传音	ř′‴書										平成28年	10月31日
計画の	名称	君津市	・富津市に	こおける	公共下水	道整備計i	画										
計画の					平成27年		年間)		交付対象	君津富津	は広域下水道組合	•					
計画の	目標																
		公共下7	水道の整備	帯を推進	し、公衆行	衛生の向.	上及び健	全な都市の発達を図るとと	もに、川や海の	水質を保全	全する。						
計画0	の成果目	標(定	量的指標)														
			_		-												
								0.3% (H27) に増加させる									
								23) から25% (H27) に増力									
		U					,	3) から46% (H27) に増加 から100% (H24) に増加さ									
定量的			『 小小ノノ び算定式	/ 物の地)	長刈水理	双半を0%) (П23)	がり100% (R24) に増加さ	·단 ② o			完量的	指標の現況値及び	15日煙値			
人 里	71日小水 **	人工我人	0 347627									当初現況値	中間目標値	最終目標値	1	備考	
												(H23当初)	(H25末)	(H27末)	+		
(Ī			水管)整備														
			管(汚水管				整備面積	(ha)				76%	77%	80%			
(2			創出のため				/ -te ete Le	em a 'We to be a built for emate an	alet. (Asta)			00/	0%	0.5%			
6			理か美施る る改築・夏			蚁 (池) /	/尚度処	理を導入すべき水処理施設	剱 (池)			0%	076	25%	-		
						(簡所)	/改築・	更新工事を実施すべき施設	数 (簡所)			31%	38%	46%			
4			の地震対策		- 72,50	(111/7/17 /	90/0	2001-1-024007	<i>у</i> , (Щ//I/						1		
		雨水ポン	ンプ場の耐	付震補強?	実施箇所	数(箇所)	/雨水	ポンプ場の耐震補強をすべ	き箇所数(箇所	-)		0%	100%	100%			
全化	本事業費	P		計	6, 35	59. 1	Α	6, 359. 1 B	0	С	0		工業費の割合		0.	. 0%	
	1 7 7147		(A+I)	B+C)	-,			-,			-	C/ (A	+B+C)				
									事 後	評	価						
○事後評価	まの宝物	c/未生!!	宝松時期						, ,		,,						
事後評価の			大旭时朔		1					東盆郭石	あの実施時期		1				
学 校叶Щ ⁰	ノ大旭日	נינווי								尹 俊叶॥	平成28年10月		1				
君津富酒	丰広域下	水道組	合社会資本	本総合整	備計画事	後評価員	会にて評	² 価を実施		公表の力							
											君津富津広域下	水道組合ホームペ	ージにて公表				
1. 交付対	対象事業	きの進捗:	状況														
交付対象事	丰業															上段:計画	
	>>4															下段:実施	
A1 下水 番号	迫事業 事業	地域	交付	直接	1	事業及び	/V m/z	<u> </u>		1		T	中光点	ミ施期間(年度)			備考
番写	争来 種別	種別	対象	間接	事業者	事業及び施設種別	省略 工種	要素となる事	業名		事業内容	市町村名	サ来タ H23 H24	H25 H26	H27	全体事業費 (百万円)	1佣-与
			君津富津広					みなてし 0 日本始本体表	4	Sant L. Andre	L=4, 421m		1120 1121	1120 1120	1121	1209. 2	
A1-1-1	下水道	一般	域下水道組 合	直接	_	汚水	新設	君津汚水 2 号幹線整備事業	ž.	汚水管	L=2,381m	君津富津広域下水道組合				748. 4	
A1-1-2	下水道	一般	君津富津広 域下水道組	直接	_	汚水	新設	富津汚水2号幹線整備事業	4	汚水管	L=582m	君津富津広域下水道組合				261.0	
			合 君津富津広			.,				-	L=361m L=865m					110. 7	
A1-1-3	下水道	一般	域下水道組合	直接	_	汚水	新設	八重原汚水幹線整備事業		汚水管	L=805 m $L=0 m$	君津富津広域下水道組合				246.6	
A1 1 4	エルス	én.	君津富津広	-tr+tr		ù⊈-k	水にきル	告你还 业壮纳 敢 供事来		in the first	L=1, 478m	君津富津広域下水道組合			+	20.6	
A1-1-4	下水道	一般	域下水道組 合	直接	_	汚水	新設	常代汚水枝線整備事業		汚水管	L=1,707m	右伴晶浑丛墩卜水道組台				20. 6	
A1-1-5	下水道	一般	君津富津広 城下水道組	直接	_	汚水	新設	中野汚水枝線整備事業		汚水管	L=1,787m	君津富津広域下水道組合				286. 9	単独費対応
			合 君津富津広		ļ						L= 541 m L=1, 410 m					0. 0 170. 0	
A1-1-6	下水道	一般	域下水道組 合	直接	_	汚水	新設	人見汚水枝線整備事業		汚水管	L=1,410m L= 962m	君津富津広域下水道組合				43. 0	
A1-1-7	下水道	一般	君津富津広域下水道組	直接	_	合流	北領:	中野地区人孔蓋改築事業	(長寿会ル)	人孔蓋改	200倍市	君津富津広域下水道組合		+ + +	+-	76. 0	長寿命化支援制度
A1 1-1	「小坦	用又	- 小坦祖 合	旦.1女	I -	口小儿	以架	丁 对 地	(区村刊几)	ハル益り	0箇所	□中田年山域「小児組合」	I		1	0. 0	人不明 15人1友明

水処理施設(5・6池)

(君津富津広域下水道組合

2374.0

A1-1-9	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	-	処理場	改築	君津富津終末処理場 (水質保全)	砂ろ過施設 君津富津広域下水道組合							26. 5 0. 0	
A1-1-10	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	_	処理場	改築	君津富津終末処理場 (長寿命化)	調査・計画策定	君津富津広域下水道組合						7.0	長寿命化支援制度
A1-1-11	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	_	処理場	改築	君津富津終末処理場 (水質保全)	機械棟-建築、建築設備、	君津富津広域下水道組合						580. 5 26. 9	長寿命化支援制度
A1-1-12	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	_	ポンプ場	新設	浜田中継ポンプ場(汚水)	機械、電気(5.1m3/日)	君津富津広域下水道組合						564. 0 15. 2	
A1-1-13	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	_	ポンプ場	改築	人見第1ポンプ場(雨水) (地震対策)	耐震補強 (325m3/分)	君津富津広域下水道組合						282. 0 282. 0	
A1-1-14	下水道	一般	君津富津広 域下水道組 合	直接	_	ポンプ場	改築	人見第2ポンプ場(雨水) (地震対策)	耐震補強(129m3/分)	君津富津広域下水道組合						254. 8 254. 8	
슬람 6,359.1														6, 359. 1 3, 527. 2			
B 関連	基社会資本	整備事業	É														
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	省略 工種		正書 しょって 古 平力	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費	備考	
番写	種別	種別	対象	間接	争来石			要素となる事業名								(百万円)	
合計																	
番号 一体的に実施することにより期待される効果															備考		
□ 2															VII.3 3		
C 効果	促進事業	ŧ															
平 旦.	番号 事業		交付	直接	事業者	省略		要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実施期間 (年度)				全体事業費	備考
留万	種別	種別	対象	間接	争来有	エ	種	安米とはる事業名	事来ri台 印则利名							(百万円)	
	,====																
	,										ļ		合計				
番号		実施する	うことによ	より期待る	される効:	果							合計				備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道管(汚水管)整備により、新たに常代・郡地区等(41.8ha)の供用開始を行なった。 ・君津富津終末処理場の汚水高度処理施設の整備により放流水質の向上が期待できる。
- ・終末処理場の長寿命化計画を策定し、君津富津終末処理場の計画的な改築更新事業を行なうこととした。
- ・雨水ポンプ場の地震対策が完了し、災害時でも運転が図れるようになり安全性が向上した。

Ⅱ. 定量的指標の達成状況

最終目標値 80% 指標①(下水道 目標値と実績値 管整備率) に差が出た要因 最終実施値 77% 指標②(処理場 最終目標値 25% 高度処理実施 最終実施値 0% 指標③(処理場 最終目標値 46% 目標値と実績値 改築・更新工事 に差が出た要因 実施率) 最終実施値 31% 指標④(雨水ポ 最終目標値 100% 目標値と実績値 に差が出た要因 ンプ場地震対策 最終実施値 実施率) 100%

事業費や工事の進捗状況から、汚水幹線の整備計画を見直したことにより、整備目標値に達成しなかった。

目標値と実績値 事業費の平準化を図るため、工事工程を見直ししたことにより、実施目標値に達成しなかった。 に差が出た要因 なお、平成28年夏頃には工事が完了し、実施率が33%となる予定である。

> 長寿命化計画は策定したが、設計業務に時間を要したため、改築工事の実施まで出来なかった施設があったので 実施目標値に達成しなかった。

Ⅲ. 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状

(必要に応じて記述)

下水道管の整備が進むことにより住居環境が整い、住宅戸数の増加に貢献している。

3. 特記事項(今後の方針等)

汚水管整備事業については、2期計画にて引き続き整備を実施することで、公衆衛生の向上及び健全な都市の発達を図り、川や海の水質を保全する。 終末処理場の高度処理については、引き続き水処理施設(5・6池)の工事を実施していく。 改築・更新事業については、新防災・安全計画にて引き続き整備を実施することで、下水道施設の機能を適正に維持していく。

社会資本総合整備計画

